

## 公共交通機関を活用した学習活動推進事業

**しなの鉄道株式会社**と県教育委員会との連携協定（H28.11.25 締結）に基づき、地域の玄関口である鉄道を活用した学習を通じて、児童・生徒の社会性の向上を促す等、これからの長野県を担う子どもたちの育成に寄与することを目的とした取組を共同で企画しました。

- ◆「乗りたくなる地域鉄道！」高校生 PR 動画コンテスト  
PR 動画作成用にしなの鉄道車両の貸し切り撮影会を実施しました（H29.9）。コンテスト応募作品をテレビコマーシャルやしなの鉄道車内モニターで放送しました（H30.1～3）。
- ◆「地域公共交通とわがまちの未来」高校生プレゼンテーション大会(H30.3)  
「20年後の地域公共交通とわがまち」に関する「つくりたい/ありたい」将来像を構想し、将来像実現のための方策等を提案するプレゼン大会の実施（県内8高校 11チーム 40名参加）
- ◆2018 信州総文祭記念トレイン「信州なび助号」(H30.3)  
「信州なび助号」として貸切列車を運行し、総文祭の各部門に出場する高校生たち 56 名が、停車駅等で、軽音楽、演劇などのパフォーマンス等を披露しました。



地域の人々の生活に欠かせない“鉄道”を子どもたちの学習活動発表の場として活用することで、**誰もが親しみやすく観覧しやすいイベントとして開催することができました。**

## 信州ふれあい自然体験キャンプ事業

望月少年自然の家が**チーム '95**（県内の大学生による自然体験活動企画運営団体）と協働で実施しています。学生は、子ども達の班のリーダーとして参加。子ども達が困っているときに必要な支援を行っていただいています。

8月上旬に4泊5日で開催。参加する子ども達にとって、年齢の近い大学生は兄や姉に近い存在となり、信頼関係も築かれ、キャンプ最終日には、別れを惜しむ姿が見られる。

・参加した子ども達の満足度が高く、保護者からも好評で、リピーターが多い。キャンプ参加人数2017年 望月少年自然の家：参加者31人、学生10人



親しみやすい大学生が班のリーダーになることにより集団での活動が苦手な子どもたちでも**初日からスムーズに活動しやすくなりました。**

## 信州型コミュニティスクール促進事業

①学校運営への参画②学校支援③学校評価を一体的、持続的に実施していく仕組みを備え、地域の特色を生かした実践を行う学校と**地域の皆様**との協働活動を促進し、地域に開かれた信頼される学校づくりを進めています。

信州型コミュニティスクール：地域住民の参画を目指した国のコミュニティ・スクール（H16～）、学校支援地域本部事業（H19～）の機能と学校評議員制度の学校関係者評価機能を加えた、国の取組を一体的に実施する信州型コミュニティスクールの仕組みづくりを行いました（H25～）。



・市町村・市町村教育委員会の理解を得ながら、また学校や公民館等の団体と連携しながら信州型コミュニティスクールの普及推進(H26～H29) に取り組んだ結果、設置率100%となりました。

【声】

(地域) 子どもとかわることで元気になる。やりがいを感じる。

(教員) 子どものコミュニケーション力が高まった。授業の質が高まる。

(子ども) やさしく声をかけてくれてうれしい。地域の人に恩返しをしたい。



地域の皆様のやりがいや生きがい、教職員の授業改善、地域貢献をしようとする子どもの育ちにつながるなど、**相互にいい影響（WINWINの関係）**があります。

## 信州チャレンジスポーツDAY2017

子どもから大人まで県民が参加・交流し、様々な形でスポーツに触れ、生涯にわたって豊かなスポーツライフの実現につながる機会とすることを目的に、多くの団体と協働で開催しています。昭和48年にやまびこ国体開催決定を契機に始まった「県民運動競技大会」が、形態を変えながら継続している歴史のあるイベントです。

- ・ 県体育協会
- ・ NPO 法人障がい者スポーツ協会
- ・ 県スポーツ推進委員協議会
- ・ 県レクリエーション協会
- ・ 県総合型クラブ連絡協議会
- ・ TOYBOX 信州スカイパークサービスセンター
- ・ 競技団体
- ・ 県内プロスポーツチーム



平成29年度は、10月14日（土）に松本平広域公園内で開催されました。参加者数は3,979人でした。

- ・ 日頃から愛好しているスポーツや仲間と練習に励んできたスポーツの成果を試す（集団リレー、ファミリーランニング、小学生・女子相撲）
- ・ トップアスリート、競技団体、専門家が教えてくれる教室や体験（野球、サッカー、車いすバスケットボール、ニュースポーツ等）
- ・ 「みるスポーツ」の観点から実施（チャリーディング、スラックライン等）



様々なスポーツの体験を通し**世代間交流**や**共生社会づくりへの理解**を深められました。

## 水道メーターを活用した一人暮らし高齢者の見守りシステムの実証実験

東洋計器株式会社により、国内初となる水道メーターを活用した高齢者見守りシステムが開発されました。このシステムの幅広い活用に向けて、企業局水道事業給水区域である坂城町をモデル地区とし、平成 29 年 9 月 1 日から、**東洋計器株式会社、坂城町、坂城町社会福祉協議会、学識経験者、県企業局**が一体となって実証実験を開始しました。



現在 37 名の方にご利用いただいています。異変メールが 787 件あり、見守り確認を実施することができました。（幸い、いずれもご本人に異常はありませんでした。）



企業、地域、行政が一体となって、一人暮らしの高齢者とそのご家族の皆様**に安心を提供するシステムづくりの第一歩**とすることができました。